

## 10年の歩み（鳥取県農業改良普及事業年表）

| 年                   | 本県の普及指導活動の動向と農業・農政に係る出来事  |
|---------------------|---|
| 平成<br>20年<br>(2008) | <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取県農林総合研究所を新設。<br/>内訳：農林試験研究機関の統合、企画総務部（「技術普及室」が普及事業の総括）、専門技術員の集中化。</li> <li>福田康夫首相が就任後1年足らずで辞意を表明。麻生太郎が日本の第92代首相に就任。</li> </ul>   |
| 24年<br>(2012)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年3月農林水産省は「協同農業普及事業の運営に関する指針」を一部改正し、農業革新支援専門員の配置と農業革新支援センターの整備に努めるものとした。</li> <li>平成24年5月「鳥取県協同農業普及事業の実施に関する方針」を一部改正し、農林総合研究所企画総務部技術普及室を「農業革新支援センター」と位置づけた。</li> <li>「総合支援班」設置で、総合的に担い手対応を実施する核として、地域総合戦略、新規就農支援、6次産業化推進、女性農業者育成等に対応できる体制を構築。</li> <li>「米子農業改良普及所」と「大山農業改良普及所」を統合して「西部農業改良普及所」とし、このうち「大山農業改良普及所」を「西部農業改良普及所大山普及支所」とした。</li> </ul>                   |
| 25年<br>(2013)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度まで県内に5つあった総合事務所のうち東部、八頭、日野が廃止・統合され、3つの普及所の名称が変更された。</li> </ul>   |
| 26年<br>(2014)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>組織再編（農林総合研究所廃止）に伴い、担当本課が県庁農林水産部農業振興戦略監とつとり農業戦略課「研究・普及推進室」への配置となった。</li> <li>鳥取県指導農業士の認定替えにより、指導農業士73名（男性54名、女性19名）が認定される。</li> </ul>   |
| 27年<br>(2015)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年5月に農林水産省は、協同農業普及事業の実施方針と考え方（国ガイドライン）改正。</li> <li>協同農業普及事業の鳥取県実施方針の改正に向けて、ワーキンググループ立上げ、改正案作成。</li> <li>キャリアアドバイザー制度等の活用で、普及2年目の若手職員育成に対応。</li> <li>10年後の到達目標を掲げ、その達成を目指す「鳥取県農業活力増進プラン」策定。</li> </ul>   |
| 28年<br>(2016)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年4月「鳥取県協同農業普及事業の実施に関する方針（平成28～32年度）」を策定。</li> <li>「生活班」の名称を「加工流通・農業労働班」に改称。<br/>かつて、農村の食生活等も改善する目的から付与された名称であるが、実態に即して改称。（業務内容や業務量の変更は無し）</li> <li>平成24年度設置「総合支援班」の一層強化を図るため、各普及所に専任者を配置。<br/>（鳥取・倉吉・東伯のみが専任職員を配置していたのを、各特技班の該当業務を集中化させるよう工夫し、特技班から配置換え）</li> <li>総合支援班長は、継続して次長が兼務。次長配置の無い普及所は、普及所長が担当し総合支援班長の機能を強化。各特技班長は全員、総合支援班を兼務。（※原則、特技班長は普及主幹級）</li> </ul> |
| 29年<br>(2017)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>米国1月20日、8年間続いてきた民主党・オバマ大統領が退陣し、共和党・トランプ大統領が就任。環太平洋連携協定（TPP）から離脱し、NAFTAを再交渉する方針を明確にした。</li> <li>平成29年5月に協同農業普及事業の実施についての考え方（国ガイドライン）の一部改正で、生産工程管理（GAP）の普及・拡大やICT等を取り入れた新たな農業（スマート農業）の展開及び中山間地域の特色を活かした農業展開に向けた支援等が重点的に推進する取組として盛り込まれた。</li> <li>鳥取県指導農業士の認定替えにより、指導農業士76名（男性59名、女性17名）が認定される。</li> <li>全国和牛能力共進会が宮城県で開催され、7区枝肉で全国1位となる。7区総合5位。</li> </ul>               |
| 30年<br>(2018)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>「加工流通・農業労働班」を東部、中部、西部の3ブロックに配置し、広域活動体制とする。</li> <li>「鳥取県農業活力増進プラン」を改訂し、「農業生産額1千億円達成プラン」を策定。</li> </ul>   |